

・(5-1) スポーツ振興課所管事業

1. スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員に関する事務事業
2. 保健体育施設管理事業
3. ニュースポーツ普及事業
4. 体育施設開放事業
5. 指導者研修会・養成講習会
6. スポーツ団体育成事業
7. 生涯スポーツ活動推進事業

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員に関する事務事業				所管	部	教育文化部
						課		スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第31条、野々市市スポーツ推進審議会に関する条例、スポーツ基本法第32条、野々市市スポーツ推進委員に関する規則					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市がスポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員に		事業の目的	審議会委員の提言や助言をスポーツ推進委員の協力のもとに、スポーツ事業の推進と普及を図る。				
事業の内容	スポーツ推進審議会の開催。 スポーツ事業の推進を図るため、スポーツ推進委員の委嘱を行う。 体育協会、スポーツ少年団事務局の自主運営に向けた団体事務専任職員の雇用 スポーツ事業推進のための事務補助員の雇用。		平成26年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進審議会委員の委嘱及び審議会の開催</li> <li>・スポーツ推進委員の委嘱</li> <li>・各種団体への負担金</li> <li>・体育協会、スポーツ少年団事務局の自主運営に向けた団体事務専任職員の雇用</li> </ul>				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
	事業内訳	国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	3,966		4,385		7,237	
事業費計 (A) (千円)	3,966		4,385		7,237			

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会の継続</li> <li>・スポーツ推進委員の継続</li> <li>・スポーツ推進計画の審議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会の継続</li> <li>・スポーツ推進委員の継続</li> <li>・スポーツ推進計画に基づく事業の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会の継続</li> <li>・スポーツ推進委員の継続</li> <li>・スポーツ推進計画に基づく事業の継続</li> </ul>	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進審議会のご意見などを、スポーツ振興事業の推進に活かすよう努める。</li> <li>・スポーツ推進委員には、積極的に研修会等に参加いただき、他市町での先進的事例、取り組みなどを研修いただき、本市における生涯スポーツ事業の推進に努める。</li> </ul>
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会委員の積極的な意見に基づき、事業の改善に努める。</li> <li>・スポーツ推進委員には、各種スポーツ事業において、積極的に指導及び連絡調整に活動していただく。</li> </ul>			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		保健体育施設管理事業				所管	部	教育文化部
						課		スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ハード・ソフト事業	
		2 生涯スポーツの普及と振興					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市の管理するスポーツ施設を安全快適なものとして、 保全管理の徹底と効率的な活用に努めるものである。				
事業の内容	・公共施設管理事業団への委託及び補助事業。 ・市内スポーツ施設の維持・管理及び改修等事業。		平成26年度 活動実績	スポーツランド全熱交換器、市民野球場スコアボード の改修				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	施設の利用人数	人	350,000	288,429	297,268	300,000	
事業の コスト	区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
	事業 内訳	国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)	14,926		14,500		14,800	
		一般財源 (千円)	130,079		133,332		28,392	
	事業費計 (A) (千円)	145,005		147,832		43,192		

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	経年劣化している施設に対し、利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		経年劣化している施設に対し、利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		ニュースポーツ普及事業				所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条第1項						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内在住もしくは市内勤務・通学の中学生以上の人に		事業の目的	ニュースポーツに親しむことによって、運動不足の解消と健康増進を図るとともに、市民のコミュニケーションを深めることを目的とする。					
	事業の内容	市スポーツ推進委員が中心となって普及しているトリプルソフトバレーの大会。 4～5人1チームで、各チーム予選3試合を行い、上位チームで順位決定戦を行う。		平成26年度 活動実績	平成27年3月15日(日)に第6回野々市市トリプルソフトバレー大会を開催した。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込			
	成果指標	トリプルソフトバレー大会	人	160	129	126	145			
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算					
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	68	77	70					
事業費計 (A) (千円)	68	77	70							

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。トリプルソフトバレーを含めた新しい内容・形態のニュースポーツ大会の開催を検討する。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。新たなニュースポーツ大会の開催。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	現在推進しているトリプルソフトバレーについては、6回目の大会を開催しており、毎年参加チーム数が増えている。大会後のアンケートでは、トリプルソフトバレー大会の継続を望む声が多かったため、今後も市民の健康増進と地域交流に寄与する大会となるよう努めていきたい。また、さらなる生涯スポーツの振興のため、新たな種目についても検討し、市民に紹介していきたい。併せて、新しい内容・形態のニュースポーツ大会の開催についても検討していく。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後も大会開催及びニュースポーツについて広く市民に伝える。また、大会の内容及び形態について、工夫・検討を行っていく。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		体育施設開放事業				所管	部	教育文化部		
							課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務			
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業			
		2 生涯スポーツの普及と振興					単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進								
		基本的施策(4) スポーツ活動の推進								
行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度					
					事業開始		**	年度		
					終了予定		**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第13条第1項 野々市市立学校の施設の開放に関する規則						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市スポーツクラブ会員及び市スポーツ少年団、市体育協会加盟団体に		事業の目的	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し市民のスポーツ活動の振興を図る。						
事業の内容	学校開放運営委員会を設け、市内7校の教員及び学校利用団体代表者による開放運営委員会議を開催し、小・中学校の屋内体育館及び屋外運動場(体育館6、運動場6)の開放を行っている。		平成26年度 活動実績	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会 公共施設管理事業団への管理委託						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	学校体育施設利用者		人	88,000	87,716	93,002	93,500		
		学校開放件数		件	3,000	3,085	3,362	3,400		
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算		
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	1,083		1,066		1,029		
	事業費計	(A) (千円)	1,083		1,066		1,029			

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	多くの市民が利用しており、学校活動に支障のない範囲において、適切に施設開放が運用されている。今後も適切に施設が運用されるよう努めたい。平成27年6月より体育館の開放時間の延長を行い、施設利用の推進及びスポーツの振興を図る。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民の利用ニーズが高まってきているため、現在の利用状況を適切に把握し、施設の利用推進に引き続き努めていく。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		指導者研修会・養成講習会				所管	部	教育文化部		
							課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務			
		4 文化・スポーツ活動の充実					ソフト事業			
		2 スポーツ団体の育成					単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		事業開始	**	年度
						終了予定		**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第11条、第14条							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市スポーツ推進委員、市スポーツクラブ員、市スポーツ少年団指導者・保護者、市体育協会員、市民及び市内勤務の人に		事業の目的	指導者を育成し、その指導者を中心として広く市民に安全で楽しくスポーツに親しむ機会を提供する。						
事業の内容	・市スポーツ推進委員の各種研修会への派遣 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)		平成26年度 活動実績	・北陸地区スポーツ推進委員研修会兼石川県スポーツ推進委員研修会への派遣 ・市スポーツ推進委員研修会の実施 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)の実施						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	市スポーツ推進委員の研修会参加人数		人	70	39	33	40		
		スポーツ傷病の予防と応急手当講習会参加人数		人	60	43	39	45		
事業のコスト	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算			
	事業内訳	国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	344		386		413		
事業費計	(A) (千円)	344		386		413				

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 スポーツ推進委員の資質向上のために各種研修会に派遣するとともに、自主研修を行い、市民を対象とした事業に活かしていく。 また、スポーツ活動を安全・快適に行う上で必要な知識を身に付けていただくために各種講習会を実施する。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 近年参加できていない全国スポーツ推進委員研修会等への派遣や自主研修を通して、スポーツ推進委員の資質向上及び新たなニュースポーツの普及につなげ、市民を対象とした事業等に活かしていく。 各種講習会に参加された方々の意見を取り入れながら、内容の検討を行っていく。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		スポーツ団体育成事業				所管	部	教育文化部		
							課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務			
		4 文化・スポーツ活動の充実					ソフト事業			
		2 スポーツ団体の育成					単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進								
	行政改革 推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進				事業の開始・終了年度		事業開始	**	年度
					終了予定		**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条、第34条							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民および体育協会並びにスポーツ少年団等に		事業の目的	市民の健康増進とスポーツ事業の推進を図る。						
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種全国大会等に出場する選手への激励費の支給</li> <li>小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会への委託事業</li> <li>体育協会、スポーツ少年団等への補助金の支給等</li> </ul>		平成26年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種全国大会に出場する選手への激励費支給。</li> <li>小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、野々市じょんからの里マラソン大会、県体選手派遣等各実行委員会委託事業。</li> <li>体育協会、スポーツ少年団、競技強化委員会、ふるさと駅伝等補助金交付。</li> </ul>						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込			
	成果指標	野々市じょんからの里マラソン大会の参加者	人	1,600	1,212	1,297	1,500			
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算					
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	16,087	15,144	15,847					
事業費計 (A) (千円)	16,087	15,144	15,847							

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	↗	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。</li> <li>野々市じょんからの里マラソン大会等各実行委員会委託事業。</li> <li>各団体の補助事業(団体事務局の独立に向けての協議・調整)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。</li> <li>野々市じょんからの里マラソン大会等各実行委員会委託事業。</li> <li>各団体の補助事業(団体事務局の独立)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。</li> <li>野々市じょんからの里マラソン大会等各実行委員会委託事業。</li> <li>各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)</li> </ul>	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	国際大会、全国大会等に出場する選手に激励費を支給。各大会の委託料についてはそれぞれの実行委員会において、事業内容の精査見直し等を行いながら、適切な運営に努める。 体育協会、スポーツ少年団の自主運営に向けての移行を着実に進める。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会の実行委員会への委託事業については、多くの市民の方にスポーツに親しんでいただけるよう実行委員会と共に工夫を行う。</li> <li>体育協会、スポーツ少年団事務局の自主運営に向けた意識の向上及び団体事務専任職員による主体的な団体事務運営を確立する。</li> </ul>		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		生涯スポーツ活動推進事業				所管	部	教育文化部
						課		スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業	
		2 生涯スポーツの普及と振興					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市民各層のニーズを勘案したスポーツ教室を開催することにより、健康を増進し体力向上を図るとともにスポーツ人口の拡大を図り活力あふれる地域づくりを目指す。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者健康クラブの活動補助</li> <li>体力・運動能力調査の実施</li> <li>エアロビック教室の開催</li> <li>ニュースポーツ体験会の実施</li> <li>スポーツガイドののいちの発行</li> </ul>		平成26年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者健康クラブ活動補助</li> <li>体力テスト(一般・高齢者)</li> <li>エアロビック教室(春・秋・冬 各6回コース)</li> <li>ニュースポーツ体験会</li> <li>スポーツガイドののいちの発行</li> <li>公共施設管理事業団へのスポーツ教室の委託</li> </ul>				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	高齢者スポーツ活動参加者数	人	1,500	967	925	1,000	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	414	459	451			
事業費計 (A) (千円)	414	459	451					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。 スポーツ教室の新たな委託等について検討。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。 スポーツ教室の新たな委託等について検討。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。 スポーツ教室の新たな委託等について検討。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。 スポーツ教室の新たな委託等について検討。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	公共施設管理事業団の解散により、平成27年度はスポーツ教室を市の事業として行う。内容の充実を図るとともに、今後のスポーツ教室の新たな委託等について検討していく。エアロビック普及事業については、引き続き市エアロビック連盟に対して委託し、より市民のニーズに合った、参加者の増加につながる事業展開を目指す。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		内容の充実を図るとともに、今後のスポーツ教室の新たな委託等について検討し、より市民のニーズに合った参加者の増加につながる事業を目指す。		



#### ・(5-2) 学識経験者からの意見

生涯スポーツの振興を図るうえでニュースポーツとしてのトリプルソフトバレーの普及に力を入れておられますが、さらなる市民のスポーツへの関心を高める意味で、新たなニュースポーツの種目の普及も必要と考えます。

スポーツ関係の施設整備に伴い、今一度総合型地域スポーツクラブの創設の推進及び施設開放、管理方法を検討していただきたいと思えます。

国では、スポーツ庁の設置がされている中、本市ではスポーツ振興課が生涯学習課のスポーツ振興係となり、スポーツ事業の縮小とも受け取られる恐れがありますので、市民に対して事業のコンパクト化、組織編成の効果を広報していく必要があると思えます。

近年、子ども達の地域行事等への参加が少なくなっている現状が見受けられるように思われます。地域の活性化への協力を指導者にも理解いただくよう図っていただきたいと思えます。

今後、スポーツ人口の増加や生涯スポーツの活性化のために、市民のニーズに合った事業内容の工夫や現在の利用状況を的確に把握しながら利用の促進を図るとともに、施設の整備に関しては、市民が使いやすい動線や地域を考慮したものであって欲しいと思えます。

#### ・(5-3) 今後の方針

- ① 生涯スポーツの振興を図るうえで、子どもから高齢者までの幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツの普及や認定スポーツクラブ等の体制づくり等の推進に努めます。
- ② スポーツに関する窓口を市民体育館に置くことにより、窓口を一元化し、スポーツ振興から施設の管理までスポーツ愛好者や関係団体に、より身近な組織となるよう努めます。
- ③ 地域活性化を図るうえでは、スポーツ少年団員や子ども会など、関係団体との連携が不可欠と考えております。今後も指導者をはじめ、関係団体と連携し、地域活動への参加にもご理解いただくよう努めてまいります。
- ④ 利用者のニーズを把握しながら、施設の利用率の向上が図れるよう努めます。また、施設整備につきましては、整備基本計画や市民の皆さまからのご意見をいただきながら、総合的なスポーツゾーンの整備を視野に入れて検討を行ってまいります。

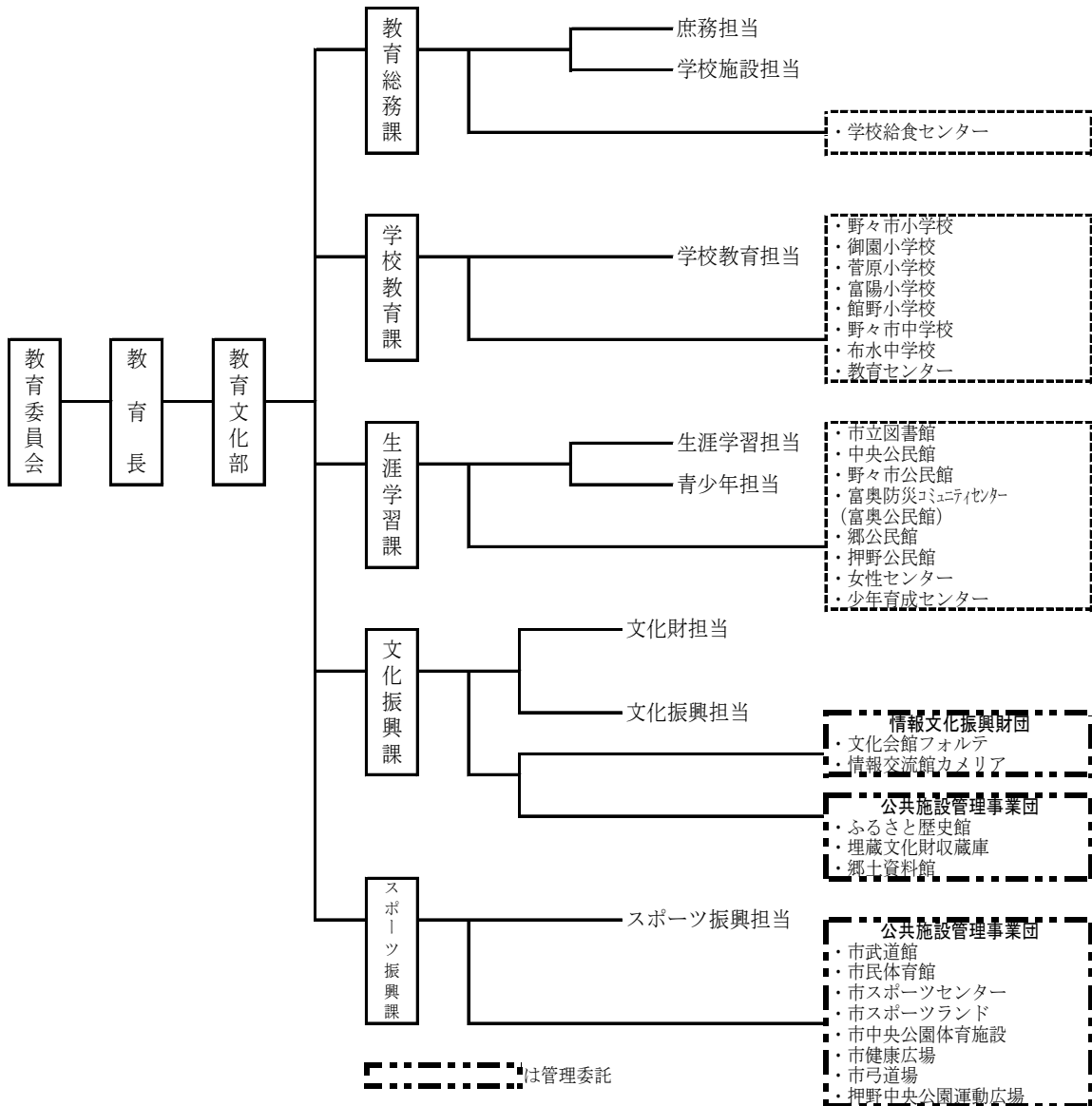
## 4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成 27 年 3 月 31 日現在）

### <教育委員会>

委員長	松野勝夫	委員長職務代理者	荻野直子
委員	北本正	委員	徳田寿秋
委員	中野恵美子	委員（教育長）	堂坂雅光

### <教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

F A X ：227-6258

E メール：kyouiku\_soumu@city.nonoichi.lg.jp